

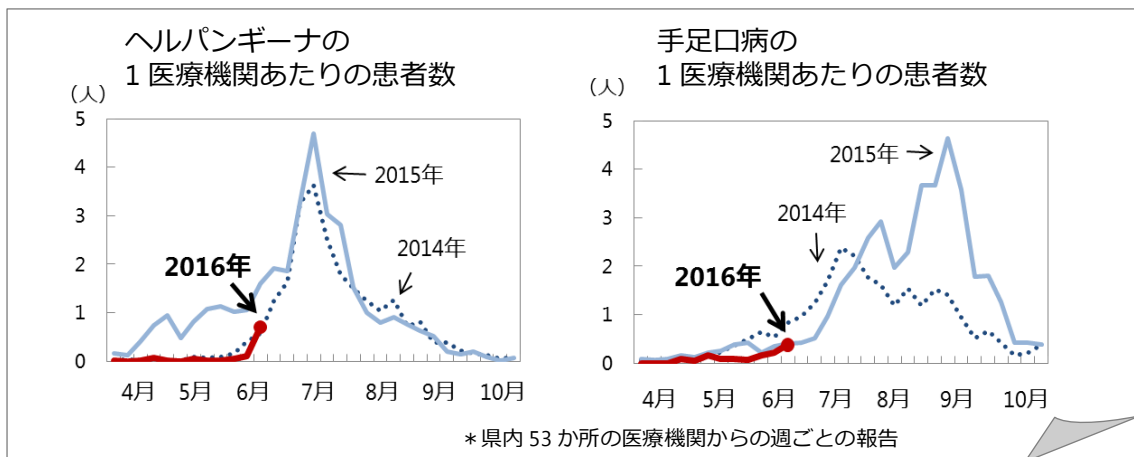
ぎふ感染症かわら版

平成 28 年 7 月 1 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



ヘルパンギーナと手足口病の流行の兆しがみられます！

夏風邪の代表であるヘルパンギーナと手足口病の患者が、県内で増加し始めています。これから夏にかけて注意しましょう。



どんな病気？

腸管で増えるエンテロウイルスという仲間に含まれる様々なウイルスが原因となります。

ヘルパンギーナは、口の中の水疱（水ぶくれ）と発熱

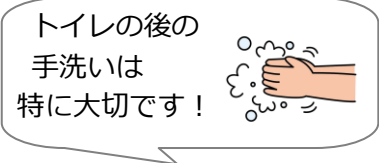
手足口病は、手のひらや足の裏、口の中の水疱ができるのが特徴です。

3 歳以下のお子さんがかかりやすい病気です。

手洗いをしっかりして予防しましょう

エンテロウイルスは、感染した人の便や鼻水から、
手指などを介してウイルスが口に入ること（接触感染）や
咳やくしゃみのしぶきを吸い込むこと（飛沫感染）でうつります。

特に、このウイルスの仲間は、症状が治まった後も 2～4 週間
便の中に出てきて、周囲の人が感染することがあります。



- ✓ 石けんを使ってこまめに手を洗いましょう
- ✓ 交換後のおむつなどはきちんと処理しましょう



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

